

UBE

証券コード 4208

株主通信 Vol.11

2011年4月1日～2012年3月31日

技術の翼と革新の心。

Wings of technology and spirit of innovation.

宇部興産株式会社

株主の皆様へ

当期の経済情勢は、アジアでは中国をはじめとして一定の景気拡大が継続しましたが、その勢いは鈍化しており、米国では緩やかな景気回復が続きながらも、欧州では財政不安や失業率の高止まりにより景気が足踏み状態にあるなど、世界経済は不透明な状況が続きました。

一方国内経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱もその立て直しが比較的順調に進み、景気は持ち直し傾向にあるものの、円高や海外需要の停滞などにより厳しい環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは2010年度から2012年度の3か年の中期経営計画「ステージアップ 2012 -新たなる挑戦-」の基本方針に基づき、その2年目として目標の早期達成に向け更なる業績の向上に取り組んでまいりました。この結果、当期の連結業績は増収増益となりました。

なお、東日本大震災、タイ洪水による当期業績への影響は、ともに比較的軽微でした。

この業績を踏まえ、当期の期末配当は1株につき5円(前期は1株につき5円)とさせていただきます。

当社グループは、今年度が最終年度となる現中期経営計画の基本方針である「持続的成長を可能にする収益基盤の確立」「財務構造改革の継続」「地球環境問題への対応と貢献」を引き続き進展させるため、グループの総力を結集しスピード感を持って取り組んでまいります。

さらに、当社グループでは「CSR(企業の社会的責任)は、社会的公器としての役割を果たすという、企業の経営そのものである」との認識に基づき、コンプライアンスおよびリスク管理等の充実による公正な企業活動を推進するとともに、グループの創業時の理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認を深めてまいります。

なにとぞ、株主の皆様におかれましても、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 竹下道夫

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結業績ハイライト	2
中期経営計画「ステージアップ 2012 -新たなる挑戦-」	3
部門別概況(連結)	4
トピックス	5
決算の概況(連結)	7
決算の概況(単独)	9
会社情報	9
株式情報	10

マネジメント・チーム (2012年3月31日現在)

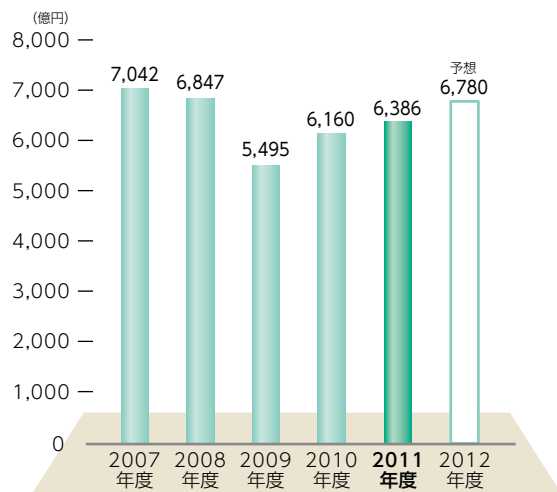


後列左から：杉下秀幸常務執行役員、渡邊史信常務執行役員、松波正常務執行役員、木内政行常務執行役員、梅津誠取締役、妙中信之常務執行役員、泉原雅人取締役
前列左から：野口章二取締役*、元田充隆取締役*、古川陽道代表取締役、田村浩章取締役会長、竹下道夫代表取締役社長、山本謙専務執行役員、糸口栄一執行役員

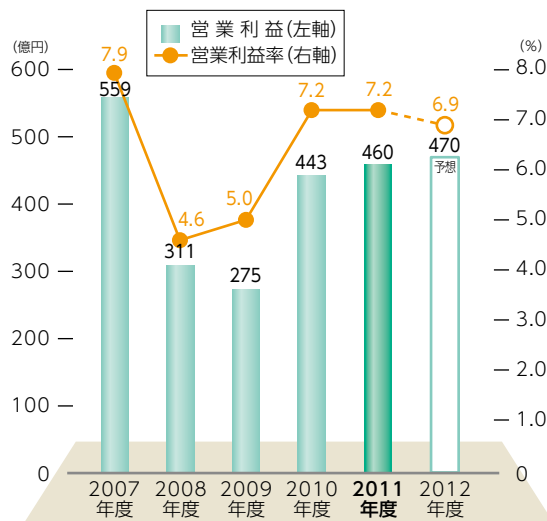
*社外取締役

連結業績ハイライト

売上高



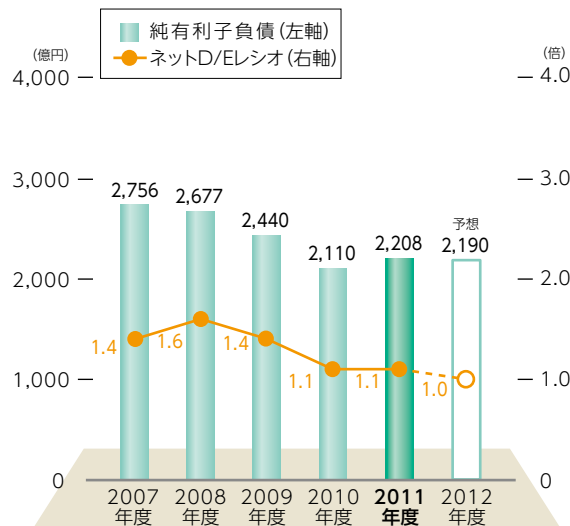
営業利益と売上高営業利益率



当期純利益

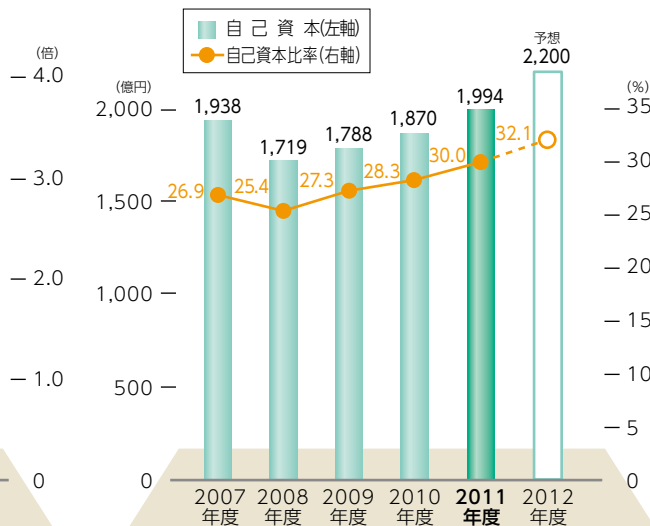


純有利子負債とネットD/Eレシオ*



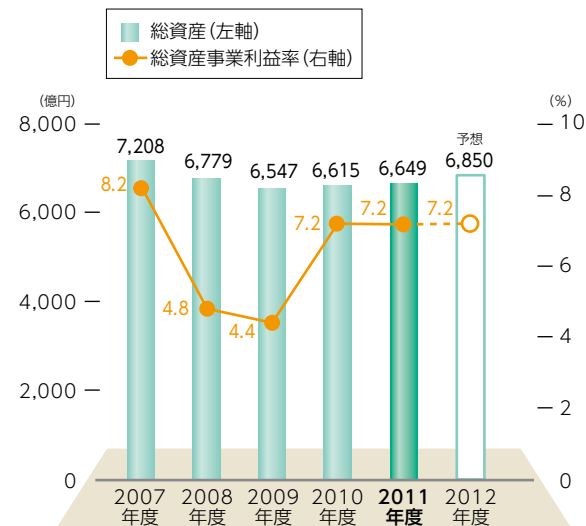
* ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (= 有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

自己資本と自己資本比率*



* 自己資本比率 = 自己資本 (= 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率(ROA)*



* 総資産事業利益率 (ROA) = 事業利益 (= 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

中期経営計画「ステージアップ 2012 - 新たなる挑戦 -」

「新興国」と「環境」をキーワードとする成長市場に対応し、確実に成長軌道へ！

2010年度から2012年度を対象期間とする中期経営計画「ステージアップ 2012」の2年目にあたる2011年度は、財務体質が着実に改善し、収益基盤も強化が進みました。

基本方針

- (1) 持続的成長を可能にする収益基盤の確立
- (2) 財務構造改革の継続
- (3) 地球環境問題への対応と貢献

数値目標・ターゲット指標

経営指標		2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 中計目標	2015年度 ターゲット指標
財務 指標	ネットD/Eレシオ	1.1倍	1.1倍	1.0倍未満	—
	自己資本比率	28.3%	30.0%	30%以上	—
収益 指標	売上高営業利益率	7.2%	7.2%	7.5%以上	8.0%以上
	総資産事業利益率 (ROA)	7.2%	7.2%	7.5%以上	8.0%以上
	自己資本当期純利益率 (ROE)*	9.4%	11.9%	12%以上	—

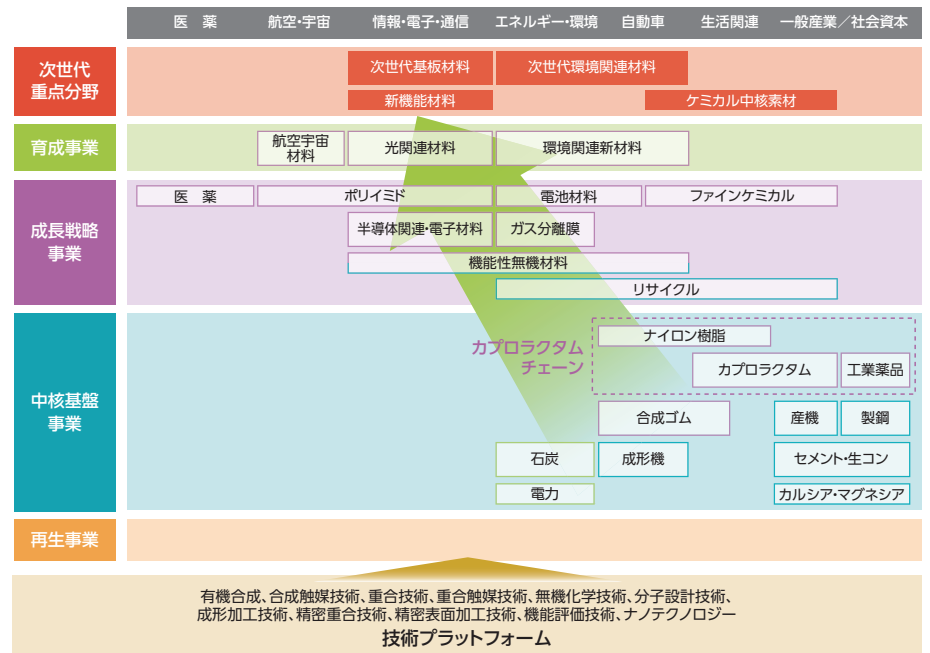
* 自己資本当期純利益率 (ROE) = 当期純利益 / 自己資本

損益計算書・ 貸借対照表の 主要項目	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 中計目標	2015年度 ターゲット指標
売上高	6,160億円	6,386億円	6,700億円以上	—
営業利益	443億円	460億円	530億円以上	700億円以上
事業利益	470億円	479億円	550億円以上	—
純有利子負債	2,110億円	2,208億円	2,200億円未満	—
自己資本	1,870億円	1,994億円	2,250億円以上	—

「ステージアップ 2012」最終年度の取組み

2012年度は引き続き厳しい外部環境が続くことが予想されますが、東日本大震災の復興需要や電力不足問題への対応など、企業としての社会的責任を果たしながら、「ステージアップ 2012」の基本方針に沿って、カプロラクタムチェーン、合成ゴム、機械事業などでの新興国需要への対応や、リチウムイオン電池材料やリサイクルをはじめとする環境貢献型事業の拡大など、成長市場への取組みをスピード感をもって推し進め、さらなる収益基盤の強化と財務体質の改善を図ってまいります。

UBEグループの事業ポートフォリオと市場・技術の方向性



部門別概況（連結）

● 化成品・樹脂



売上高 2,310億円
(前期比13.0%⬇️)

営業利益 229億円
(前期比16.0%⬇️)

35%

＜主要製品＞

- 合成ゴム
- カプロラクタムチェーン
- カプロラクタム
- ナイロン樹脂
- 工業薬品

アジア市場の旺盛な需要に支えられ高騰し続けたナイロン原料のカプロラクタムは、秋口以降、景気減速懸念などから市況が悪化しましたが、通期で見るとスプレッド（製品と原料の値差）は前期を大きく上回りました。原料調達や自動車向け需要などの面で懸念された東日本大震災やタイ洪水の影響が軽微にとどまり、ポリブタジエン（合成ゴム）は堅調で、ナイロン樹脂はタイでの新設備稼働もあり好調でした。工業薬品も総じて堅調に推移しました。

● 建設資材



売上高 2,091億円
(前期比4.3%⬇️)

営業利益 86億円
(前期比7.5%⬇️)

32%

＜主要製品＞

- セメント・生コン
- 資源リサイクル
- 石灰石
- 建材関連製品
(セルフレベリング材、左官材、防水材)
- カルシア・マグネシア
- 機能性無機材料

セメント・生コン、建材製品の販売は、マンション・住宅着工や企業の設備投資が持ち直しとともに、復興需要も出始めたことにより増加しました。エネルギーコスト上昇の影響はあったものの、旺盛な海外需要を取り込み、セメント製造設備はフル稼働を維持し、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用も拡大しました。カルシア・マグネシア製品の販売は、カルシア製品が粗鋼生産の落ち込み等の影響を受け、全体では販売が低調でした。

● 機能品・ファイン



売上高 643億円
(前期比6.4%⬇️)

営業利益 54億円
(前期比38.0%⬇️)

10%

＜主要製品＞

- 機能性材料
- ポリイミド
- 電池材料(電解液、セパレーター)
- 半導体関連・電子材料
(高純度化学薬品、光通信関連)
- ガス分離膜
- セラミックス
- 通信部品
- 航空宇宙材料
- ファインケミカル

リチウムイオン電池用の電解液・セパレーターは総じて堅調で、セラミックスも軸受、切削工具向けなどの需要が底堅く、堅調に推移しましたが、薄型ディスプレイをはじめ電子情報材料分野の需要不振のため、ポリイミド等、多くの製品で出荷が伸び悩み、価格も低下しました。またファインケミカル製品は、アジアでの需要低迷や円高の影響も受けました。

● 機械・金属成形



売上高 725億円
(前期比13.1%⬇️)

営業利益 30億円
(前期比76.5%⬇️)

11%

＜主要製品＞

- 成形機
(ダイカストマシン、射出成形機)
- 産業機械(運搬機、粉砕・破碎機)
- 橋梁・鉄構
- 製鋼品

自動車産業向けを中心とする成形機は新興国向けの新機種を中心として出荷、受注ともに増加しましたが、堅型ミルや運搬機等の産業機械は受注、出荷ともに減少しました。成形機、産業機械ともに円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により厳しい状況が続きましたが、コストダウンや合理化により採算面では改善しました。製鋼品の出荷は堅調でしたが、円高の影響を受けました。

● 医薬



売上高 111億円
(前期比26.1%⬇️)

営業利益 37億円
(前期比60.9%⬇️)

2%

＜主要製品＞

- 医薬品(原体、中間体)

抗アレルギー剤や血圧降下剤、抗血小板剤の自社医薬品を中心として、原体・中間体の販売は順調に伸長し、ロイヤルティー収入も増加しました。

● エネルギー・環境



売上高 625億円
(前期比5.8%⬇️)

営業利益 33億円
(前期比17.5%⬇️)

10%

＜主要製品＞

- 石炭
- 電力

石炭事業は、販売炭、電力会社向けを中心とする預り炭ともに需要堅調ながら、コールセンター（貯炭場）の受入れ余力不足が続き、取扱い数量は前期を下回りました。電力事業は、燃料である石炭価格は上昇したものの、売電価格の上昇もあり堅調でした。

2011年度トピックス一覧

2011年6月 タイ国で1,6ヘキサジオール*1の新工場が営業運転を開始

8月 宇部マテリアルズ(株)が双日(株)と中国の石灰事業に参画

8月 韓国サムスン モバイル ディ스플레이社と、次世代ディスプレイ用基板材料の合併会社を設立

9月 第7期機能膜(セパレーター)製造設備が営業運転を開始

9月 第四医薬品製造設備が営業運転を開始

10月 参天製薬(株)と緑内障治療薬に関するライセンス及び共同開発契約を締結

10月 UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)が50周年 **Topics 1**

12月 タイ国でカプロラクタム年産2万トンの増産工事が完工 **Topics 2**

12月 米国ダウ・ケミカル社とのリチウムイオン二次電池用電解液の合併会社を設立 **Topics 3**

12月 インドに機械部門の現地法人を設立 **Topics 4**

12月 宇部全日空ホテルが「ANAクラウンプラザホテル宇部」にリブランド **Topics 5**

12月 台湾に現地法人を設立

2012年1月 窒化珪素*2の製造設備増強が完工

3月 荻田セメント工場に廃プラスチック燃料化設備が完工 **Topics 6**

Topics 1

共通

UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)が50周年

当社が特別協賛する野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」が、50周年を迎えました。都市環境改善を目指す市民活動をきっかけに始まった同彫刻展は、2年に一度開催され、新進彫刻家の登竜門として海外からも注目されています。当社では、毎回「宇部興産株式会社賞」を提供し、受賞作品の購入、作品の宇部市への寄贈なども行っています。



開催セレモニー

Topics 2

化成品・樹脂

タイ国でカプロラクタム年産2万トンの増産工事が完工

ウベ・ケミカルズ・アジア社(タイ国)で、ナイロン原料カプロラクタム製造設備の2万トンの能力増強が完工しました。衣料品や食品包装用フィルムから自動車部品まで幅広い用途で使用されるナイロンは、アジアを中心とした新興国で需要が伸びており、原料のカプロラクタム需要も拡大しています。タイ国の成長市場に近い立地を活かし、需要を確実に取り込んでまいります。



カプロラクタム製造設備(ウベ・ケミカルズ・アジア社)



*1 1,6-ヘキサジオール カプロラクタム由来の製品で、自動車シート、靴底、塗料、接着剤などの用途に加え、近年では環境負荷の低いコーティング材向けに需要は拡大しています。世界で3社しか生産しておらず、当社は日本で唯一、世界2位(アジア最大)のメーカーです。

Topics 3

機能品・ファイン

米国ダウ・ケミカル社とのリチウムイオン二次電池用電解液の合併会社を設立



リチウムイオン電池用電解液「ピュアライト®」

米国ダウ・ケミカル社とリチウムイオン電池用電解液の合併会社を設立しました。リチウムイオン電池は従来の携帯電話やパソコンなどの携帯機器に加え、自動車用途で世界的な市場拡大が見込まれています。設立した合併会社のもと、米国、中国、欧州に製造販売拠点を順次整備し、グローバルな供給体制を整えてまいります。

Topics 4

機械・金属成形

インドに機械部門の現地法人を設立



当地のホテルで開催された開所式

UBEグループの宇部興産機械(株)と宇部テクノエンジ(株)はインドに現地法人を設立しました。自動車産業をはじめとして今後の成長が見込まれるインドにおいて、顧客企業に対するサポート体制を強化するとともに、市場開拓・販売力を強化し、ビジネスの拡大を加速してまいります。

Topics 5

共通

宇部全日空ホテルが「ANAクラウンプラザホテル宇部」にリブランド



ANAクラウンプラザホテル宇部

宇部全日空ホテルは、「ANAクラウンプラザホテル宇部」として生まれ変わりました。1983年の開業以来、山口県の空の玄関口宇部市の中心街に位置する立地を活かし、ご宿泊、ご食事、一般宴会、ご婚礼、ご法要等さまざまな場面で、お客様のご要望にあわせた温かなサービスをご提供してまいりました。リブランドにより設備やサービスをグレードアップしました。世界ブランドのホテルの上質なおもてなしを、ご体験ください。

Topics 6

建設資材

苅田セメント工場に廃プラスチック燃料化設備が完工



苅田工場廃プラ類処理設備

当社は、廃棄物のリサイクル処理に積極的に取り組んでいます。さまざまな廃棄物に対応し、当社の3つのセメント工場で順次処理設備を導入し、環境貢献と製造コストの低減を実現しています。この度、苅田セメント工場で廃プラスチックから塩素や異物を取り除く前処理設備が完工し、さらに幅広い廃棄物を受入れることが可能になりました。

*2 窒化珪素 ファインセラミックスの一種で、四塩化珪素とアンモニアを原料として製造されます。耐熱性、耐摩耗性に優れており、ベアリングボール、切削工具、ディーゼルエンジン用グローブプラグなど幅広い用途に使われています。

決算の概況(連結)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2011年3月31日現在)	当期 (2012年3月31日現在)
資産の部		
流動資産 POINT 1	281,701	284,417
現金及び預金	49,711	33,267
受取手形及び売掛金	134,914	150,108
たな卸資産	73,247	81,266
その他	23,829	19,776
固定資産	379,793	380,469
有形固定資産	313,945	313,949
無形固定資産	4,988	4,941
投資その他の資産	60,860	61,579
繰延資産	18	79
資産合計	661,512	664,965

主な科目	前期 (2011年3月31日現在)	当期 (2012年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	249,701	267,391
支払手形及び買掛金	89,135	88,811
短期借入金	96,859	97,073
コマーシャル・ペーパー	3,000	2,999
1年内償還予定の社債	40	15,000
その他	60,667	63,508
固定負債	200,362	173,167
社債	15,100	15,100
長期借入金	144,082	122,151
退職給付引当金	7,026	6,534
その他	34,154	29,382
負債合計 POINT 2	450,063	440,558
純資産の部		
株主資本	200,920	218,861
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,451	28,459
利益剰余金	114,817	132,751
自己株式	△783	△784
その他の包括利益累計額	△13,906	△19,388
新株予約権	387	462
少数株主持分	24,048	24,472
純資産合計 POINT 3	211,449	224,407
負債・純資産合計	661,512	664,965

POINT 1 流動資産

現金及び預金が164億円減少しましたが、受取手形及び売掛金が151億円、たな卸資産が80億円増加したことなどにより、前期末比27億円(1.0%)増加しました。

POINT 2 負債

有利子負債が66億円減少したことなどにより、前期末比95億円(2.1%)減少しました。

POINT 3 純資産

円高に伴い為替換算調整勘定が57億円減少しましたが、利益剰余金が179億円増加したことなどにより、前期末比129億円(6.1%)増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前 期	当 期
	(自 2010年4月1日 至 2011年3月31日)	(自 2011年4月1日 至 2012年3月31日)
売上高	616,062	638,653
売上原価	494,046	512,447
売上総利益	122,016	126,206
販売費及び一般管理費	77,653	80,200
営業利益	44,363	46,006
営業外収益	7,085	6,453
営業外費用	12,348	11,651
経常利益	39,100	40,808
特別利益	2,090	2,765
特別損失 POINT 4	12,443	5,978
税金等調整前当期純利益	28,747	37,595
法人税等	9,839	13,241
少数株主損益調整前当期純利益	18,908	24,354
少数株主利益	1,641	1,385
当期純利益	17,267	22,969

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

主な科目	前 期	当 期
	(自 2010年4月1日 至 2011年3月31日)	(自 2011年4月1日 至 2012年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,081	40,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,685	△43,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,073	△12,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,082	△800
現金及び現金同等物の増減額	12,241	△16,415
現金及び現金同等物の期首残高	37,281	49,522
現金及び現金同等物の期末残高	49,522	33,107

POINT 4 特別損失

固定資産処分損25億円、固定資産の減損損失20億円などを計上しました。

連結株主資本等変動計算書 (自 2011年4月1日 至 2012年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
当期首残高	58,435	28,451	114,817	△783	200,920	△13,906	387	24,048	211,449
当期変動額									
剰余金の配当			△5,035		△5,035				△5,035
当期純利益			22,969		22,969				22,969
自己株式の取得				△10	△10				△10
自己株式の処分		8		9	17				17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△5,482	75	424	△4,983
当期変動額合計	—	8	17,934	△1	17,941	△5,482	75	424	12,958
当期末残高	58,435	28,459	132,751	△784	218,861	△19,388	462	24,472	224,407

決算の概況(単独)

会社情報 (2012年3月31日現在)

貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2011年3月31日現在)	当期 (2012年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	144,848	139,845
現金及び預金	26,021	12,205
受取手形及び売掛金	65,314	73,455
たな卸資産	30,890	34,447
その他	22,621	19,737
固定資産	308,555	313,759
有形固定資産	188,378	192,163
無形固定資産	2,581	2,788
投資その他の資産	117,595	118,806
繰延資産	18	78
資産合計	453,422	453,683
負債の部		
流動負債	171,044	185,204
支払手形及び買掛金	42,144	42,160
短期借入金	70,349	72,962
コマーシャル・ペーパー	2,999	2,999
一年内償還予定の社債	—	15,000
その他	55,551	52,081
固定負債	158,021	137,475
社債	15,000	15,000
長期借入金	129,197	111,148
その他	13,823	11,324
負債合計	329,066	322,679
純資産の部		
株主資本	123,068	129,409
資本金	58,434	58,434
資本剰余金	29,224	29,225
利益剰余金	36,008	42,354
自己株式	△599	△605
評価・換算差額等	900	1,132
新株予約権	386	462
純資産合計	124,355	131,004
負債・純資産合計	453,422	453,683

損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)	当期 (自2011年4月1日 至2012年3月31日)
売上高	295,080	313,450
売上原価	232,134	248,339
売上総利益	62,946	65,111
販売費及び一般管理費	38,659	40,099
営業利益	24,286	25,012
営業外収益	6,312	6,056
営業外費用	9,822	8,997
経常利益	20,775	22,071
特別利益	2,742	3,783
特別損失	15,763	8,378
税引前当期純利益	7,754	17,476
法人税等	2,450	6,096
当期純利益	5,303	11,380

会社概要

設立	1942(昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,773人(連結 11,081人)
連結対象会社	92社 (連結子会社 67社、持分法適用会社 25社)
ホームページアドレス	http://www.ube.co.jp

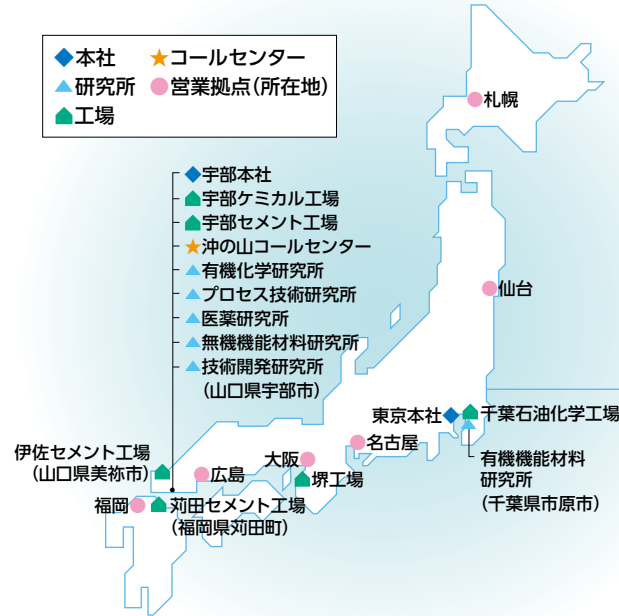
役員

(注) *は取締役との兼務を示しています。

取締役 会長	田村 浩章	社長執行役員 * 竹下 道夫
代表取締役 社長	竹下 道夫	副社長執行役員 * 古川 陽道
代表取締役	古川 陽道	専務執行役員 山本 謙
取締役	梅津 誠	常務執行役員 チャルニアピットク
取締役	泉原 雅人	常務執行役員 * 梅津 誠
取締役(社外)	元田 充隆	常務執行役員 杉下 秀幸
取締役(社外)	野口 章二	常務執行役員 渡邊 史信
		常務執行役員 妙中 信之
常勤監査役	藤岡 啓介	常務執行役員 久保田 隆昌
常勤監査役	三宅 節郎	常務執行役員 松波 正
常勤監査役(社外)	岩淵 毅	常務執行役員 木内 政行
監査役(社外)	杉尾 整	常務執行役員 リカルド・ロペス・ソリア
		執行役員 杉瀬 良二
		執行役員 六角 朋生
		執行役員 大原 真二
		執行役員 上田 淳
		執行役員 糸口 栄一
		執行役員 平井 雅典
		執行役員 三隅 淳一
		執行役員 * 泉原 雅人
		執行役員 佐藤 津義
		執行役員 松永 悦夫
		執行役員 岡田 徳久
		執行役員 野嶋 正彦

主な事業所

国内拠点

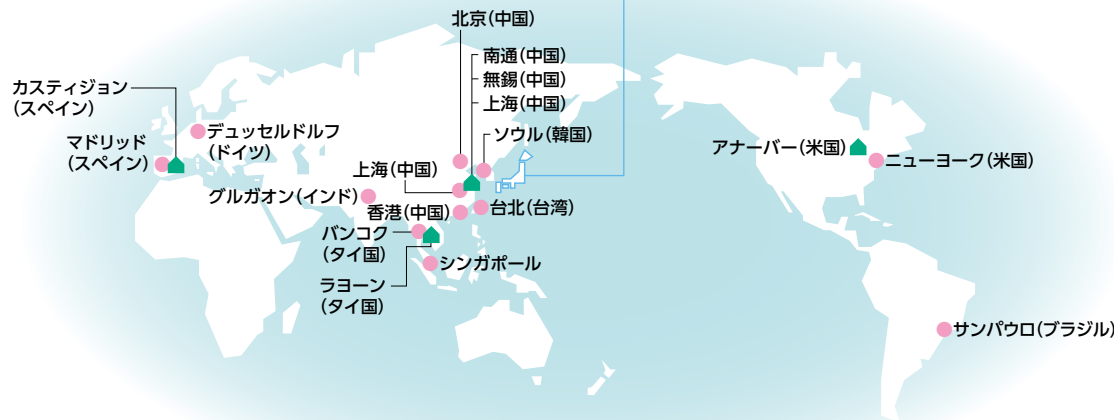


部門別主要連結対象会社

化成系・樹脂部門	建設資材部門
宇部フィルム(株)	宇部興産海運(株)
タイ・シンセティック・ラバーズ社(タイ国)	大協企業(株)
宇部アンモニア工業(有)	萩森興産(株)
ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社(スペイン)	ウベボード(株)
ウベ・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	宇部建設資材販売(株)
ウベ・エンジニアリング・プラスチック社(スペイン)	(株)関東宇部ホールディングス
ウベ・コーポレーション・ヨーロッパ社(スペイン)	宇部マテリアルズ(株)
	山石金属(株)
	宇部三菱セメント(株)*
機能系・ファイン部門	機械・金属成形部門
宇部日東化成(株)	宇部興産機械(株)
明和化成(株)	ウベ・マシナリー社(米国)
ユー・イー・エル(株)	宇部テクノエンジ(株)
ウベ・ファイン・ケミカルズ・アジア社(タイ国)	(株)宇部スチール
ウベ・アドバンス・マテリアルズ社(米国)	(株)福島製作所
	エネルギー・環境部門
	宇部シーアンドエー(株)
	その他の部門
	ウベ・アメリカ社(米国)
	ウベ・ホンコン社(中国)

*持分法適用会社

海外拠点 (主要な海外子会社の所在地)



株式の状況

発行可能株式総数 3,300,000,000株
 発行済株式の総数 1,007,030,710株 (自己株式2,134,296株を除く)
 株主数 77,405名

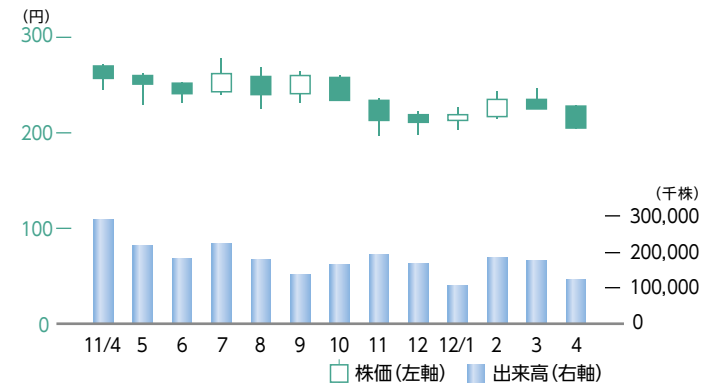
大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	79,949	7.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	63,491	6.30
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	33,670	3.34
全国共済農業協同組合連合会	29,960	2.98
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	25,296	2.51
日本生命保険相互会社	20,000	1.99
住友生命保険相互会社	20,000	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	18,425	1.83
ピービーエイチ493025ブラックロックグローバルアロケーションファンドインク	17,230	1.71
野村信託銀行株式会社(投信口)	14,230	1.41

配当金推移

1株当たり配当金	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
	5.0円	4.0円	4.0円	5.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

株価及び出来高 (東京証券取引所)



Information

単元未満株式（当社では1,000株未満の株式）の買取・買増制度について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっておりますので、単元未満株式をお持ちの株主様につきましては、端数となっております株式が整理できる買取・買増制度を設けております。証券会社等にお持ちの口座に単元未満株式がございます場合には、お取引証券会社等へお申し出ください。

買取請求とは 株主様をご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

買増請求とは 株主様をご所有の単元未満株式と合わせて1単元（1,000株）となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行 証券代行部（電話0120-232-711）へお申し出ください。



UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という創業の理念を踏まえ、下記のグループビジョンを掲げ、機能性材料や環境負荷の低い製品・技術など、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造していきます。

UBEグループビジョン

技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 6月下旬
- 基準日
定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 公告の方法 電子公告
<http://www.ube.co.jp>
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

【株式に関する手続きについて】

1. 単元未満株式の買取・買増、住所・氏名等のご変更、株式の口座振替請求、配当金受取方法の指定等のお申出先原則、株主様が口座を開設されているお取引証券会社等にて手続きをお取りください。
ただし、証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行 証券代行部にて手続きをお取りください。
2. 未払配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問合せ
株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。

宇部興産株式会社 ■ 東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館
■ 宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。
実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。



本書は、FSC®の認証紙を使用し、塩素化合物の排出を最小限に抑えたECF（無塩素漂白）パルプから製造された用紙と、植物油インキを使用しています。また、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。